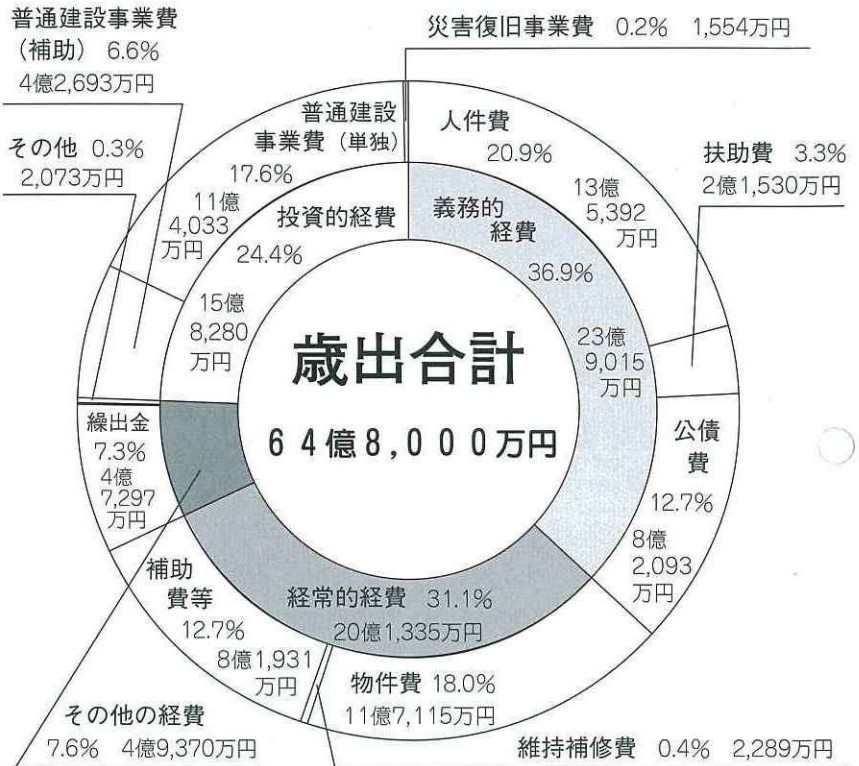


一般会計予算は 水と森の番人が創る癒しの里を

一般会計歳出予算額

項目	予算額(円)
義務的	
人件費	13億5,392万
扶助費	2億1,530万
公債費	8億2,093万
小計	23億9,015万
經常的	
物件費	11億7,115万
維持補修費	2,289万
補助費等	8億1,931万
小計	20億1,335万
その他	
繰出金	4億7,297万
その他	2,073万
小計	4億9,370万
投資的	
普通建設事業費(補助)	4億2,693万
普通建設事業費(単独)	11億4,033万
災害復旧事業費	1,554万
小計	15億8,280万
合計	64億8,000万



特別会計予算

■国民健康保険事業特別会計

9億4,520万円
【8,870万円(10.4%)増】

■老人保健特別会計

12億1,650万円
【5,527万円(4.3%)減】

■介護保険事業特別会計

8億5,260万円
【1億1,008万円(14.8%)増】

■簡易水道事業特別会計

3億9,090万円
【4,054万円(11.6%)増】

■温泉事業特別会計

2,710万円
【740万円(37.5%)増】

【老人保健特別会計】

前年度対比4.3%の減額予算。これ

適正化に努めます。
保健事業では、引き続き人間ドック助成制度の周知を図り、医療費の適正化に努めます。

【温泉事業特別会計】

老朽管布設替えとして寸又峡温泉引湯管布設替事業を実施します。

特別会計の特徴

【国民健康保険事業特別会計】

前年度対比10.4%の増額予算。これは保険給付費の70歳以上前期高齢者に係る医療費負担分について、今後増加が見込まれるためです。

【簡易水道事業特別会計】

旧両町で給水使用料の料金体系・施設の整備状況・起債残高が違うため引き続き一國一制度で運営します。中川根区域では、町営水道未普及地域解消として田野口地区の新設整備、本川根区域ではテレメーター施設整備事業など、施設改良整備を進めます。

合事務から町直営になったためです。『その他の経費』では、国民健康保険事業などの特別会計への繰出金が7.3%を占めています。
道路や公共施設建設のための投資的経費は、24.4%と前年度より1.6ポイント増加しています。国・県補助事業を活用した第五期山村振興事業による飲料水供給施設の施設整備、公営住宅及び若者定住促進住宅の建設整備、道整備交付金を活用した町道・林道整備など「環境整備」「産業振興」「定住人口促進」「防災と安全」を目指す事業を実施していきます。

【介護保険事業特別会計】

前年度対比14.8%の増額予算。今年4月から高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点「地域包括支援センター」が、役場健康増進課内に創設されます。また高齢者等のサービス意向調査及び過去の給付実績などを基に、第3期介護保険事業計画で今後3年間の保険給付費や保険料などを見込んでいます。